

【北海道高等学校選抜登山大会の歩み】

【北海道高体連登山専門部 旭川工業高等学校 細野 護】

1 はじめに

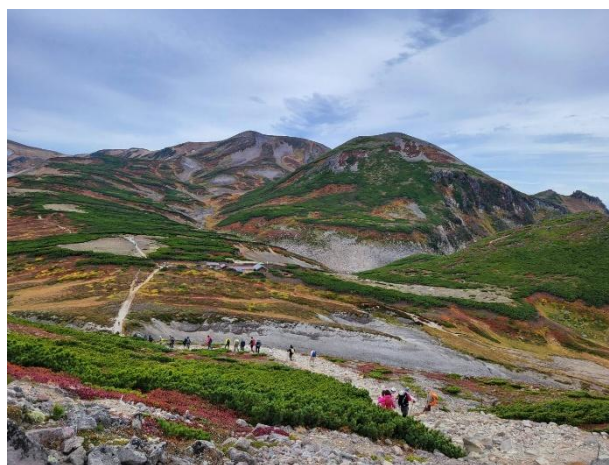
令和5年度(2023年)全国高等学校総合体育大会登山大会(インターハイ)実施に当たっては、行動役員として100名以上の人員が必要であった。それは道内すべての高校登山部の顧問や関係者、またOBやOGの登山大会経験者にも参加していただかなくてはならない数である。それに加えて、北海道では36年ぶりのインターハイで前回の大会を知っている人はほとんどいない。よって生徒がいる状態でリハーサルを実施することが必要不可欠であった。全道大会はプレ大会として3回実施したが、限られた出場校と顧問でのみ運営されるためリハーサルとはいかない。また、指導者研修会も2回実施したが、選手のいない状況であった。

そんな中、2022年は道教委や全国登山専門部から準備のための資金援助もあり、全道から生徒と教員に参加してもらいリハーサル大会をやるということになったのがこの選抜大会である。

2 第1回選抜大会

インターハイと同じ、東川町B&G海洋センターを会場に、黒岳～北鎮岳～裾合平の縦走と旭岳で実施した。行動役員の7割程度の方に参加していただき、大会運営に向けた重要なリハーサルとなった。

【第1回選抜大会 黒岳】



3 第2回～第4回選抜大会

インターハイも終わり、選抜大会の意義があやふやになり、継続の有無が議論となった。

北海道における高校登山部に関する大会は、インターハイに繋がる支部予選、全道大会がメインで、北海道のすべての高校が参加できる大会はいままで他に行われていなかった。移動手段等を考えると、北海道すべて地域を対象に大会を行うのは非現実的である。よって各支部で秋季大会や春季大会を実施して支部での交流や研修を深めていた。しかし、全道的に山岳部のある学校が減少し(部員数は増加傾向だが)、支部予選も開催することができない支部も出てきた中で、新人戦に当たる選抜大会が支部によっては重要な大会となってきており、専門部事務局が主催して継続していくこととなった。参加についても4人1チームを原則とするが、部員不足の学校にも配慮することとなった。第4回大会からは、高体連の共催大会となり、事務局の負担は大きいですが、専門部・加盟校全体で協力し継続できればと考える。

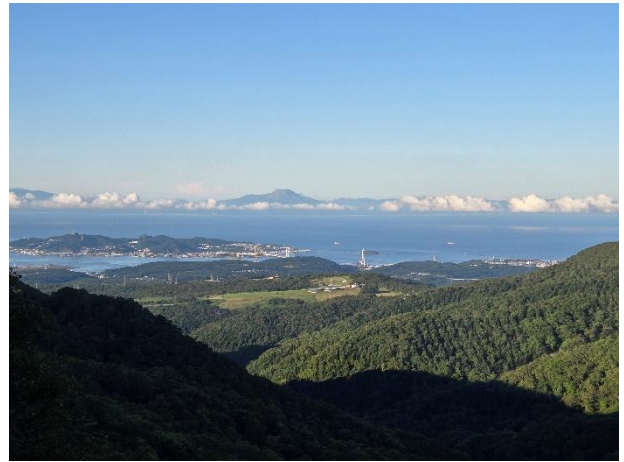
【第2回選抜大会 芦別岳】



【第3回選抜大会 望岳台～美瑛岳】



【第4回選抜大会 室蘭岳】



北海道高等学校選抜登山大会の歩み(1回~5回)

回	開催年 年号	山域	男子		女子		研究課題	日程
			男子隊長	参加校 ()は研修参加	女子隊長	参加校 ()は研修参加		
			優勝校(男)		優勝校(女)			
1	2022	黒岳~北鎮岳~裾合平 旭岳	小池圭太(旭川工業)	14	飯田一三(旭川東)	3	なし	9/17~ 9/19 (3日間)
	旭川東		札幌北					
2	2023	芦別岳	細野護(旭川北)	13	飯田一三(旭川東)	7	夕張山地 について	9/16~ 9/17 (2日間)
	旭川東		旭川東					
3	2024	美瑛岳	塩谷和樹(市立函館)	13	日向真樹(室蘭栄)	9	十勝岳連峰 について	8/24~ 8/25 (2日間)
	遠軽		旭川東					
4	2025	室蘭岳(鷲別岳)	宮澤宜法(小樽潮陵)	13	石丸高志(旭川西)	8	観天望気	8/23~ 8/24 (2日間)
	旭川東		北広島					
5	2026	風不死岳~樽前山						8/22~ 8/23 (2日間)
	R8							